

図書館計画で書庫を どう考えたらいいのか

講師：寺田芳朗氏 (株) 寺田大塚小林計画同人

(図書館建築・都市計画コンサルタント)

主催：特定非営利活動法人共同保存図書館・多摩

寺田芳朗さんは、時々の図書館界の考えと自治体や市民の要望に向き合ってきました。1980年代からの活発な図書館新設の中で、緻密な計画と計算に基づき大きな仕事をしてこられました。神奈川県大磯町、福岡県苅田町、佐賀県伊万里市、埼玉県小川町、千葉県君津市、福島県南相馬市などの建築を手掛けられ、これらは開館後の運営や利用も含め、今でも見るべき図書館とされています。

当初は（新しい運営経験が図書館界に乏しく）保存や書庫への関心が薄い時もありましたが、経験が全国に蓄積される中で、利用と保存を意識した書庫が図書館計画、建築上で認識されるようになります。寺田さんも「公開書庫」を提案しています。しかし資料運用、開架と書庫の関係など、よき図書館を作るためにはさらに議論が深まる必要があるとおっしゃいます。

多くが開館4～50年を迎える多摩の各市には、新築、移転あるいは廃館を含めた図書館再編の話題があります。そんな中、議論を重ねた「多摩市立図書館本館再構築基本構想」が決まり、同市HPで公表されています。寺田さんはこの策定委員会で支援コンサルタントを務められました。お話は、もちろん書庫だけの議論ではありません。

どこの図書館職員にも市民にも参考になると思います。ぜひおいでください。

日時：2018年8月6日（月）午後6:30—8:45

**会場：立川市女性総合センター・アイム5階 第2学習室
（JR立川駅北口 中央図書館のビル）**

資料代：500円

定員：36人（会員以外の方も参加できます）

特定非営利活動法人共同保存図書館・多摩

〒182-0011 調布市深大寺北町1-31-18

●HP：<http://www.tamadepo.org/>

●E-Mail：depo_tama@yahoo.co.jp